

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

時代の特色がわかる「タイムトラベル」

その時代の社会の様子を、絵画や写真、遺構などの歴史的資料に基づいて描いた「タイムトラベル」を設けています。イラストで時代のイメージを視覚的に捉えられるようにしています。

p.134-135



## タイムトラベル⑧ 江戸時代を眺めてみよう

(17~18世紀ごろのある場面) 安土桃山時代 p.114~115 明治時代 p.184~185



### 次の場面を探してみよう!

次の場面は、**ア**~**フ**のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 江戸から領地へ戻る武士の一行が、街道を歩いています。( )
- ② 百姓たちが決められた量の米を、俵に詰めています。( )
- ③ さまざまな工夫された農具を使って、稲を脱穀しています。( )
- ④ 海岸の近くに、綿花の畑が広がっています。( )
- ⑤ 百姓がお金を払って、新しいくわを買っています。( )
- ⑥ 旅人が手にした案内書を見せて、道を聞いています。( )

ヒント ①→p.125、140 ②→p.136 ③→p.138 ④→p.139、147 ⑤→p.138、147 ⑥→p.152



私たちは、江戸時代とよばれる長く続いた時代にきています。ここは、西日本の、ある街道沿いの農村です。百姓の暮らしがうかがえる一方で、街道にはさまざまな人々が行き交っています。



### 見方・考え方

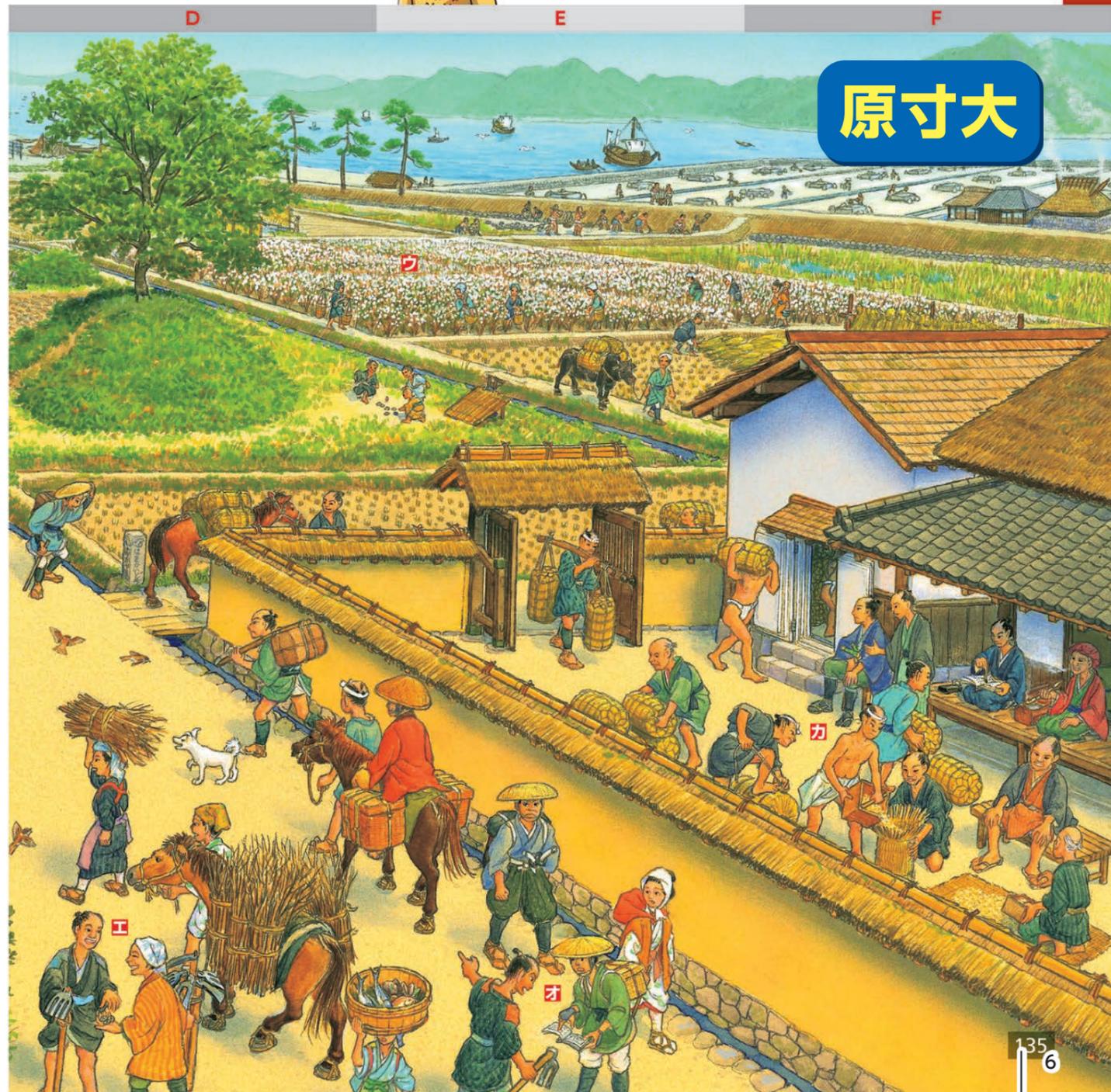
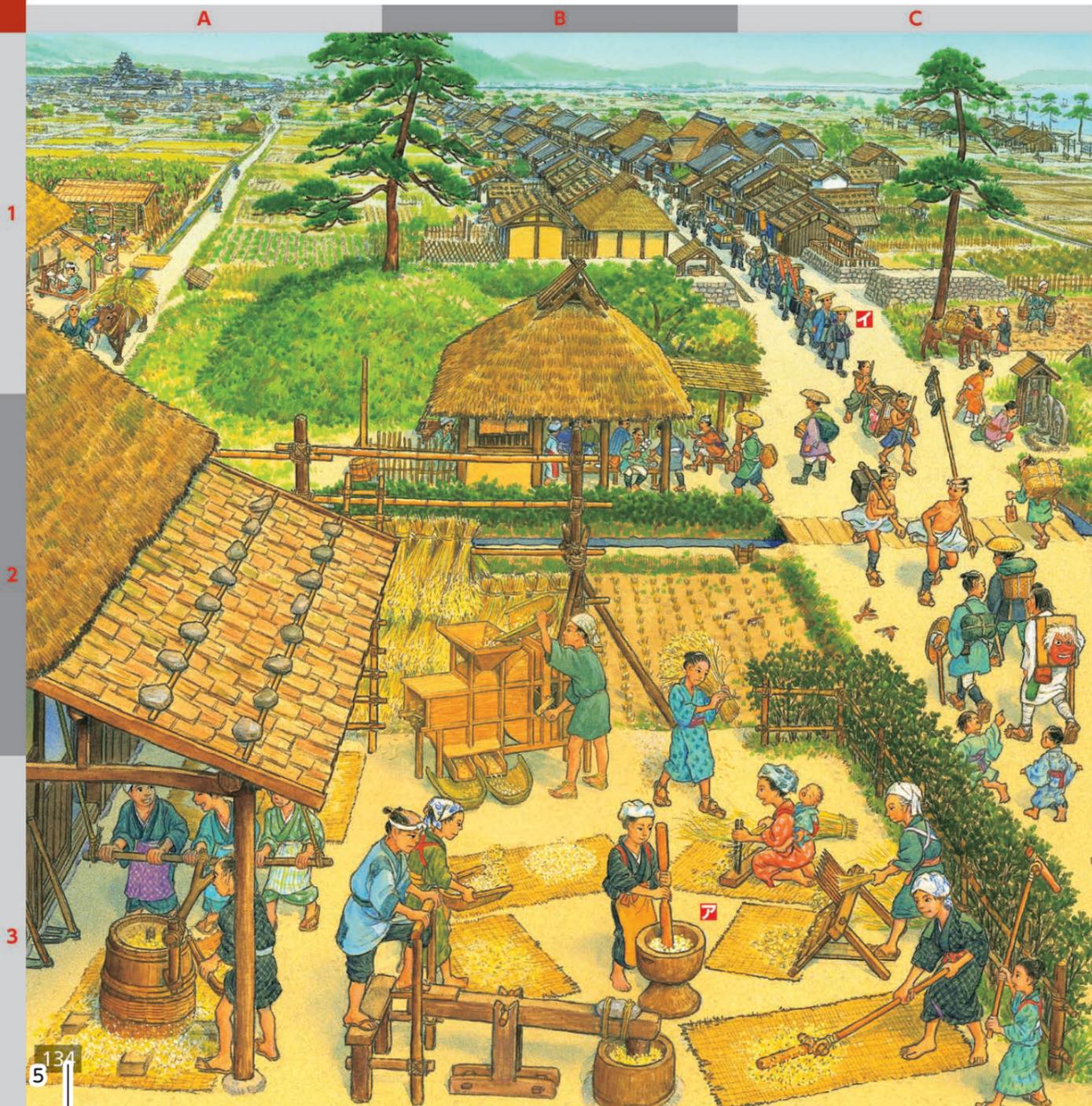
安土桃山時代から江戸時代にうつり変わって、どのような点が変わっているのでしょうか。また、なぜそのような変化したのでしょうか。例えば以下の点などに注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・街道を歩く人々の服装や持ち物
- ・場面**ア**のように人々が使う農具



対話

街道が整備されて、現在でも見られるまち並みができているね。街道を歩く人々はどんな仕事をしているんだろう。



原寸大

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

時代の特色がわかる「タイムトラベル」

「タイムトラベル」では、イラストからその時代の特色をつかむための着眼点や学習活動を設けています。

### 「さくいんグリッド」

本文に掲載されている事象を地図帳の索引記号のように、記号を使って位置を確認できるようにしています。

### 「次の場面を探してみよう！」

本文に掲載されている、その時代の重要な場面を確認することで、時代の特色をつかむ問いの設定につなげることができます。

### 時代を概観する解説

イラストを見る際の着眼点を示し、時代を概観できるようにしています。また、現在との共通点や相違点に着目できるようにしています。

### 「見方・考え方」

前の時代との変化に気付くことで、時代の特色を考えられるようにしています。  
「歴史的な見方・考え方」を働かせる場面であることを示しています。



## タイムトラベル⑧ 江戸時代を眺めてみよう

(17～18世紀ごろのある場面)

安土桃山時代 p.114～115

明治時代 p.184～185



次の場面を探してみよう！ 次の場面は、①～⑥のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 江戸から領地へ戻る武士の一行が、街道を歩いています。( )
  - ② 百姓たちが決められた量の米を、俵に詰めています。( )
  - ③ さまざまな工夫された農具を使って、稲を脱穀しています。( )
  - ④ 海岸の近くに、綿花の畑が広がっています。( )
  - ⑤ 百姓がお金を払って、新しいくわを買っています。( )
  - ⑥ 旅人が手にした案内書を見せて、道を聞いています。( )
- イラスト ①→p.125、140 ②→p.136 ③→p.138 ④→p.139、147 ⑤→p.138、147 ⑥→p.152



私たちは、江戸時代とよばれる長く続いた時代に来ています。ここでは、西日本の、ある街道沿いの農村です。百姓の暮らしがうかがえる一方で、街道にはさまざまな人々が行き交っています。

街道が整備されて、現在でも見られるまち並みができているね。街道を歩く人々はどんな仕事をしているんだろう。



### 見方・考え方

安土桃山時代から江戸時代に移り変わって、どのような点が変化しているのでしょうか。また、なぜそのような変化したのでしょうか。例えば以下の点などに注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・街道を歩く人々の服装や持ち物
- ・場面⑦のように人々が使う農具



# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

## 時代の特徴がわかる「タイムトラベル」

「タイムトラベル」のイラストは本文ページの学習と関連しています。各時代の政治・経済・文化の内容について、文章だけではイメージしづらいことも、イラストで視覚的に確認することで理解が深まるようにしています。

**タイムトラベル 江戸時代を眺めてみよう**  
(17~18世紀ごろのある場面)

次々の場面を探してみよう! 次の場面は、A~Fのどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

① 江戸から領地へ戻る武士の一行が、街道を歩いています。( ) ④ 海岸の近くに、綿花の畑が広がっています。( )  
 ② 百姓たちが決められた量の米を、俵に詰めています。( ) ⑤ 百姓がお金を払って、新しいくわを買っています。( )  
 ③ さまざまな工夫された農具を使って、稲を脱穀しています。( ) ⑥ 旅人が手にした案内書を見せて、道を聞いています。( )

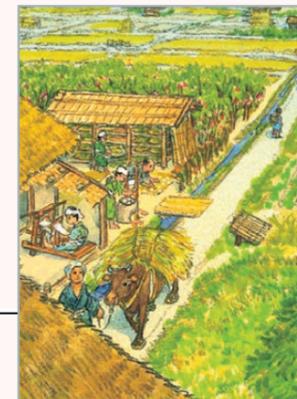
ヒント ①→p.125、140 ②→p.136 ③→p.138 ④→p.139、147 ⑤→p.138、147 ⑥→p.152

↑p.134-135

次々の場面を探してみよう! 次の場面は、A~Fのどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

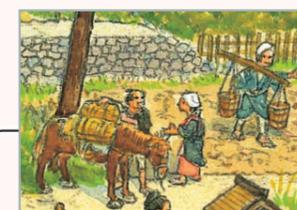
① 江戸から領地へ戻る武士の一行が、街道を歩いています。( ) ④ 海岸の近くに、綿花の畑が広がっています。( )  
 ② 百姓たちが決められた量の米を、俵に詰めています。( ) ⑤ 百姓がお金を払って、新しいくわを買っています。( )  
 ③ さまざまな工夫された農具を使って、稲を脱穀しています。( ) ⑥ 旅人が手にした案内書を見せて、道を聞いています。( )

ヒント ①→p.125、140 ②→p.136 ③→p.138 ④→p.139、147 ⑤→p.138、147 ⑥→p.152



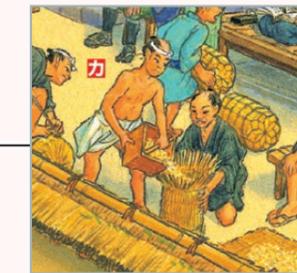
**工業の発展と変わる農村** 18世紀になると、各地で、綿花や紅花・藍などの特産物が、商品作物として積極的につくられるようになり、幕府や藩もそれを支援しました。商品作物の生産者は、それらを買いつける商人(問屋)と結びつき、問屋から原料や道具などを借りて、家内で手工業による商品づくりを行うようになりました。これを問屋制(問屋)といいます。地方には、上方などの

↑p.147



一方、農民たちも、土地を深く耕することができる備中鍬や、楽に脱穀ができる千歯こきなどの農具を使用し、干籾や油かすなどの、より栄養価の高い飼料も使うようになり、生産の効率が大きく上がりました。この時期に、農業技術を記した農書が木版印刷によって

↑p.138



生活をしていました。農民は、農地をもつ本百姓と、農地をもたない水呑百姓などに分かれていました。村の有力者は、名主(庄屋)・組頭・百姓代など村方三役という役目に就き、村の自治にあたりました。農民に課せられた主な税は、収穫した米の40~50%の年貢で、村が責任をもって納め、年貢は藩や幕府に納められ、武士の

↑p.136



かきたてました。また、本も数多く印刷され始め、旅先での出来事や名所を描いた十返舎一九の『東海道中膝栗毛』は、旅の案内書として評判となりました。曲亭(滝沢)馬琴の『南総里見八犬伝』などの長編小説も多くの人々に読まれました。こうした印刷物や旅先での人々の交流によって、江戸の文化は地方にも伝わっていきました。

↑p.152

### 経済

**参照記号**  
本文の学習で「タイムトラベル」の場面と関連する内容にはイラストの「さくいんグリッド」(本資料p.7-8)を示す赤色の参照記号を付けています。

### 政治

**「次の場面を探してみよう!」の確認**  
「次の場面を探してみよう!」(本資料p.7-8)で示された場面を本文で確認することで、時代の特徴をイラストと本文からつかめるようにしています。

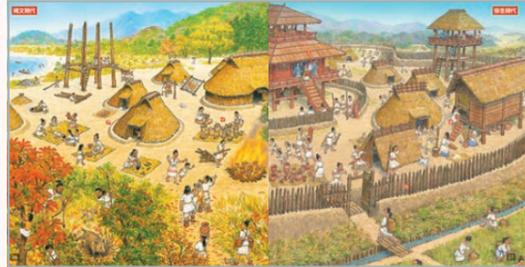
### 文化

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

時代の特色がわかる「タイムトラベル」

古代から現代まで主要な12の時代をそろえています。  
各時代の政治・経済・文化を描いたイラストで時代の特色をつかめるようにしています。

縄文時代・弥生時代 (p.26-27)



奈良時代 (p.36-37)



平安時代 (p.52-53)



鎌倉時代 (p.64-65)



政治

たて穴住居(定住) 環濠集落(クニ)

経済

狩り 高床倉庫(稲作)

文化

縄文土器 まじない(青銅器)

労役 庸・調の運搬

官道の整備 口分田の耕作

国分寺 僧侶

貴族 碁盤の目状の都 農民と年貢

品物の取引

浄土信仰 年中行事

農村の自衛 武士の館

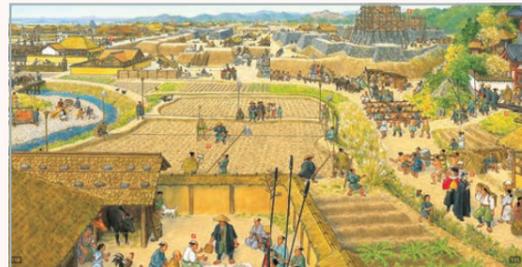
職人 水車(灌漑) 市

民への説法(鎌倉仏教)

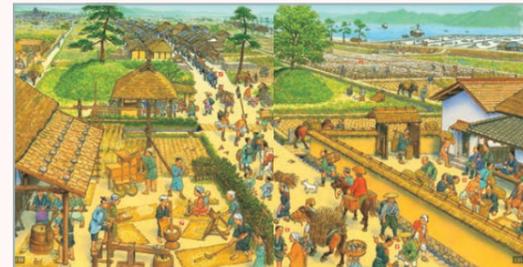
室町時代 (p.90-91)



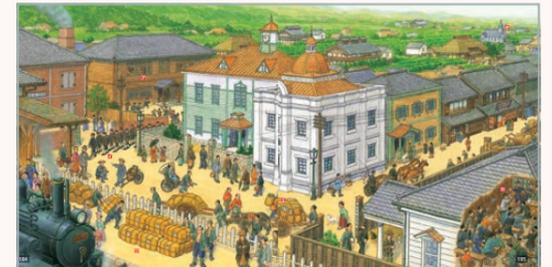
安土桃山時代 (p.114-115)



江戸時代 (p.134-135)



明治時代 (p.184-185)



政治

一揆 町衆の寄合

経済

日明貿易 馬借 明銭の流通 牛耕

文化

茶の湯・生け花・畳

検地 刀狩

城下町 ますの統一

南蛮人 天守

参勤交代 百姓と年貢

農具の発達 綿花栽培(商品作物) 貨幣の普及

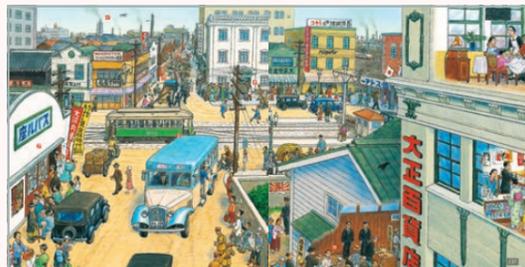
識字率の高さ

徴兵令 演説会

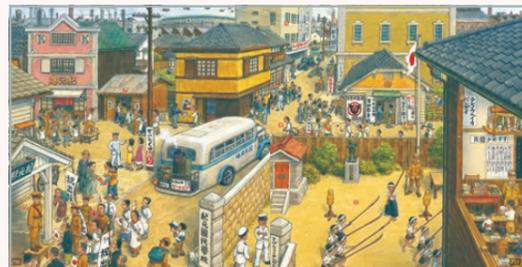
鉄道輸送 製糸工場

学制 西洋建築の教会

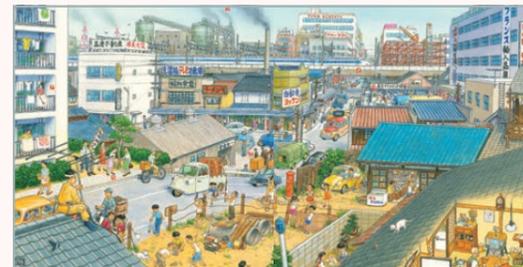
大正～昭和初期 (p.236-237)



第二次世界大戦期 (p.250-251)



高度経済成長期 (p.276-277)



政治

労働争議 男子普通選挙

経済

工業の発展 都市交通 金融恐慌

文化

映画(大衆文化)

戦地への出征 国民学校

配給制 戦時下の交通 物資の献納

マスメディア(新聞社)

女性の選挙権・参政権

重化学工業と公害 集団就職 東海道新幹線の開通と東京オリンピックの開催

団地 テレビの普及

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

世界の歴史がイメージできる「世界とのつながりを考えよう イラスト編」

**NEW**

「タイムトラベル」の世界版として「世界とのつながりを考えよう イラスト編」を新設しました。時代を象徴する場面を探すことで、世界史でも時代の特徴を視覚的に捉えられるようにしています。

↓p.168-169

世界とのつながりを  
考えよう

～イラスト編②～

## 産業革命期のイギリス



都市の様子からつながりを考えよう

私たちは、19世紀後半のイギリスの工業が盛んな都市にきています。このころの日本は明治維新の直後で、欧米を見習った国づくりを進めていました。また、この時代のヨーロッパの生活が、今の私たちの生活に大きな影響を与えています。

主な関連事項と関連ページ

イギリスの議会政治…p.162～163  
産業革命…p.166～167  
明治時代の生活文化…p.220～223

次の場面を探してみよう!

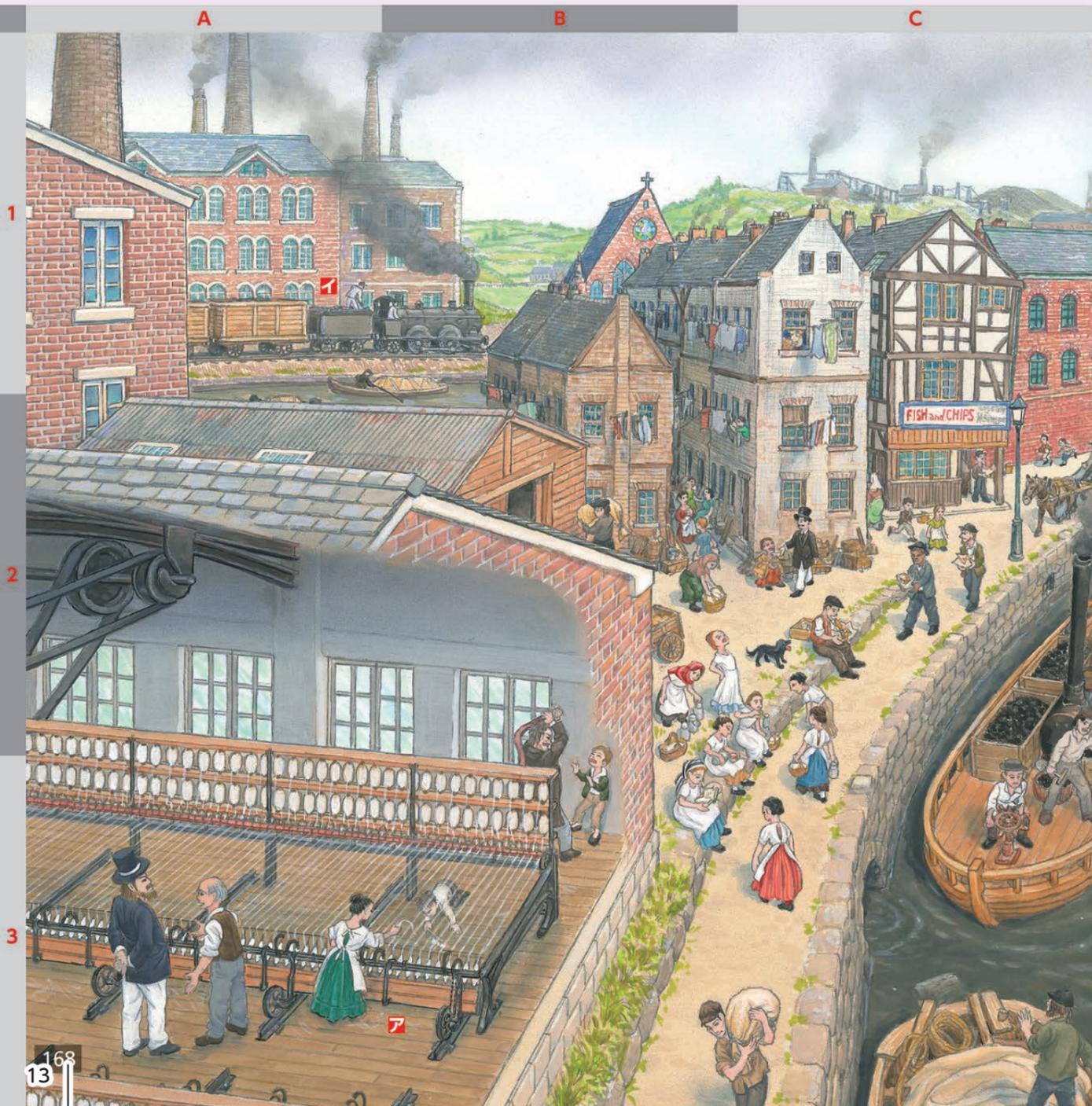
次の場面は、～のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 工場で子どもや女性が働いています。 ( ) **ヒント** →p.167
- ② 議会で議員たちが話し合っています。 ( ) **ヒント** →p.162
- ③ 蒸気機関車が貨物を運んでいます。 ( ) **ヒント** →p.166

見方・考え方 相互の関連を考えよう 対話

絵のなかから、今の私たちの身の回りと同じもの、今の私たちの生活や暮らしに影響を与えたと思うものは何があるか、見つけたものを周りの人と話し合ってみよう。その際、見つけるにあたって参考になった教科書の資料や本文の記述も、証拠として示そう。

川の水が黒いけれど、このころの環境は、どのような状態だったのかな。



原寸大

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

世界の歴史がイメージできる「世界とのつながりを考えよう イラスト編」

NEW

時代を象徴する場面を描いたイラストから、日本との関連をつかむための解説や学習活動を設けています。

### 「さくいんグリッド」

「タイムトラベル」(本資料p.7-8)と同じように記号を使って本文に出てくる事象の位置を確認できるようにしています。

### 描かれている場面の解説と「主な関連事項と関連ページ」

都市の様子から日本への影響を考えられます。教科書本文とのおもな関連事項と関連ページを示しています。

### 「次の場面を探してみよう！」

「ヒント」で示す本文を見ながら、時代を象徴する重要な場面を探すことで、世界の歴史への理解が深まるようにしています。

### 「見方・考え方」

日本との関連や影響を与えたと思うものを探し、話し合う学習活動を設定しています。「歴史的な見方・考え方」を働かせる場面であることを示しています。

世界とのつながりを考えよう

～イラスト編①～

## 唐の都 長安



### 市場の様子からつながりを考えよう

私たちは、唐の都 長安、そのなかでもとてもにぎやかな市場に来ています。このころの日本は奈良時代で、市場の様子からも、日本に影響を与えたものを見ることができます。この絵のなかにも、日本とのつながりが分かるものがたくさん隠れています。

### 主な関連事項と関連ページ

唐の成立と遣唐使の派遣…p.40～41  
平城京の建設…p.42  
大陸の影響を受けた天平文化…p.44～49

### 次の場面を探してみよう!

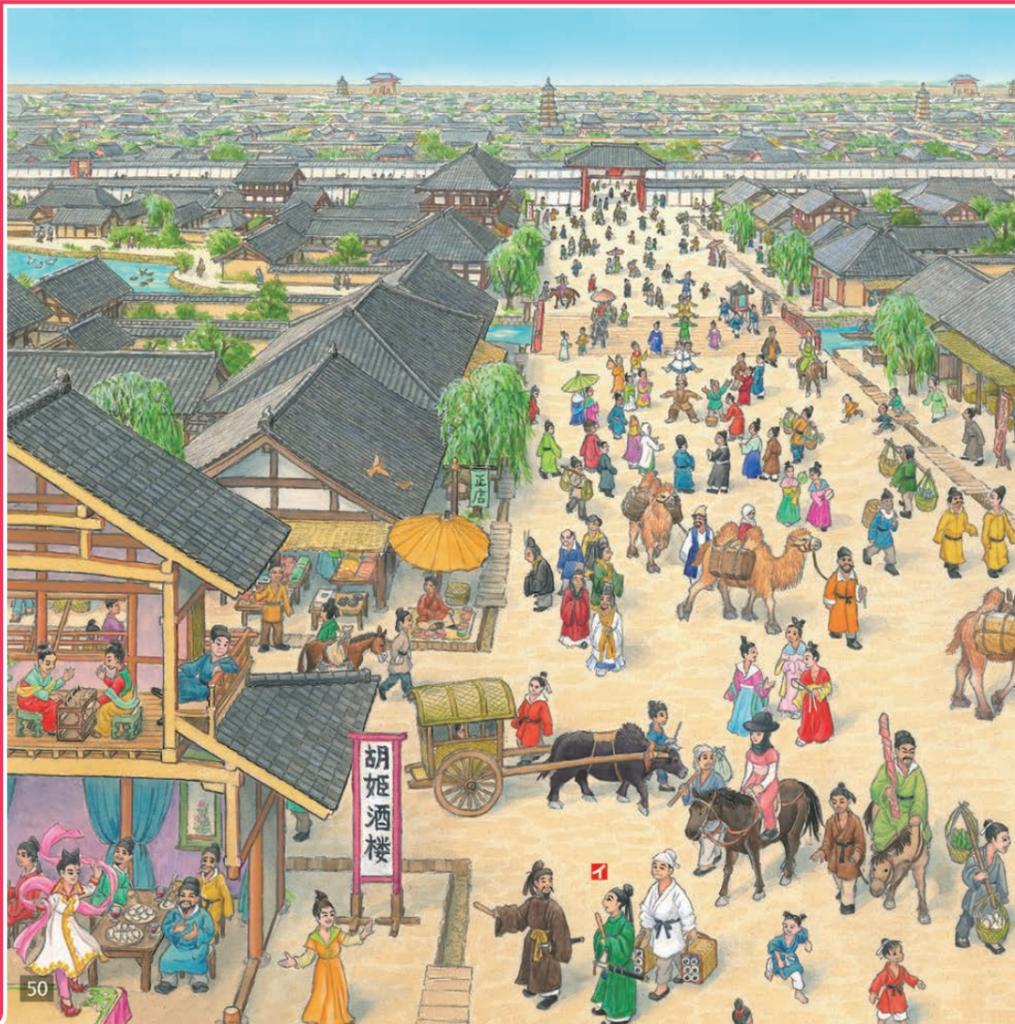
次の場面は、①～③のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 日本から来た遣唐使が、通りの様子におどろいています。( ) ヒント 書→p.41
- ② 西方から来た商品が売られています。( ) ヒント 書→p.44
- ③ 暮盤目状の町の向こうに皇帝のいる宮殿がみえます。( ) ヒント 書→p.45

### 見方・考え方 相互の関連を考えよう 対話

絵のなかから、日本と同じもの、日本と関連が深いもの、日本に影響を与えたと思うものは何かあるか、見つけたものを周りの人と話し合ってみよう。その際、見つけるにあたって参考になった教科書の資料や本文の記述も、証拠として示そう。

B3に看板があるね。どんな文字が使われているかな。



# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

## 世界の歴史がイメージできる「世界とのつながりを考えよう イラスト編」

「タイムトラベル」と見比べて、日本と世界の共通点や相違点を探ることで、相互の関連をつかめるようにしています。

**世界とのつながりを考えよう** **産業革命期のイギリス**

都市の様子からつながりを考えよう  
 見た目は、19世紀後半のイギリスの工業が盛んな都市に似ています。この頃の日本は明治維新の途上で、欧米を模倣した洋風建築が導入されました。また、この時代のヨーロッパの生活が、今の私たちの生活に大きな影響を与えています。

主な関連事項と関連ページ  
 イギリスの産業革命 p.162~163  
 産業革命 p.166~167  
 明治時代の生活文化 p.220~223

次の場面を詳しく見よう  
 次の場面は、図-1のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。  
 ① 工場や子どもや女性が働いている。 ( ) p.167  
 ② 船で輸送が行われています。 ( ) p.162  
 ③ 長距離輸送の貨物を選んでいます。 ( ) p.166

見方・考え方 **相互の関連** を考えよう **対話**  
 絵のなかから、今の私たちの身の回りと同じもの、今の私たちの生活や暮らしに影響を与えたと思われるものがあるか、見つけたものを周りの人と話し合ってみよう。その際、見つけたものについて参考になった数々の資料や本文の記述も、活用してみよう。  
 資料が活用されたことへの感想など、どのような取組だったかな。

↑p.168-169

**タイムトラベル** **明治時代を眺めてみよう**  
 (1880~90年代のある場面) 江戸時代 p.134~135  
 大正~昭和前期 p.226~237

次の場面を詳しく見よう  
 次の場面は、図-2のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。  
 ① 多くの職人や、農工職人が働いている。 ( )  
 ② 船が、川や海を航行しています。 ( )  
 ③ 船の甲板に、積み込まれた荷物が並んでいます。 ( )  
 ④ 荷物を積んだ船が、航行しています。 ( ) p.214  
 ⑤ 船の甲板に、積み込まれた荷物が並んでいます。 ( ) p.191  
 ⑥ 船の甲板に、積み込まれた荷物が並んでいます。 ( ) p.190  
 ⑦ 船の甲板に、積み込まれた荷物が並んでいます。 ( ) p.214

見方・考え方 **対話**  
 江戸時代から明治時代に移り変わって、どのような変化があったのでしょうか。また、なぜそのような変化が起きたのでしょうか。見つけたものを中心に話し合ってみよう。  
 ・建物の様子や人々の服装  
 ・船などの乗り物の様子

↑p.184-185

### ポイント

「近代前半」の「学習を振り返ろう」では、「近代国家の建設」をキーワードに日本の明治時代と産業革命期のイギリスを見比べる学習活動を設定しています。日本がイギリスから受けた影響を見ることで、日本が欧米諸国に追いつこうと努力して近代化していった様子を確認できるようにしています。

見方・考え方

例えば 推移

戦いの役割を担う人の移り変わりに着目しよう  
 p.134~135「江戸時代」と見比べて、戦いの役割を担う人はどのように移り変わっているだろうか。

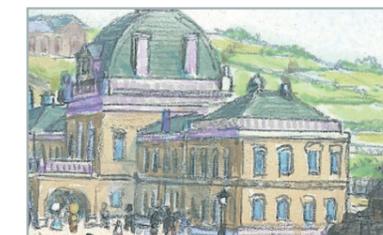
見方・考え方 巻頭8

比較、相互の関連

近い時期のイギリスとの共通点に着目しよう  
 p.168~169のイギリスの様子と見比べてたときの共通点は何だろうか。また、その共通点は、近代国家の建設とどのように関連しているだろうか。

↑p.225 「学習を振り返ろう」より

## 世界とのつながりを考えよう イラスト編 産業革命期のイギリス

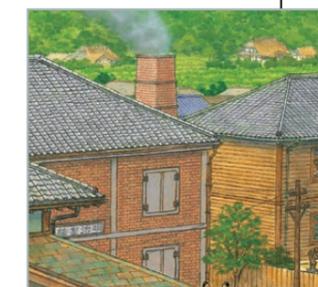
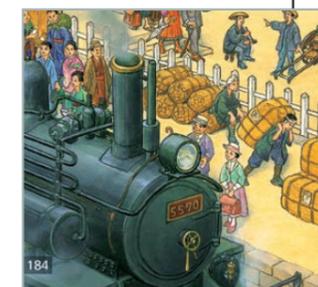


国均一の料金で郵便が利用できる。うになりました。また、交通の分野では、翌72年に新橋(東京都)~横浜間、続いて神戸~大阪~京都間に鉄道が開通しました。鉄は各地を結びつけ、多くの人や物資を運びました。その結果、都市も農村も大きく変化しました。

↑p.188

「文明開化」の下で  
 「文明開化」が進みました。そこでは、断髪、洋服を着て靴を履くなどの変化がみられ、牛鍋などの西洋料理が流行しました。街の様子も変化し、ランプが使われて夜も明るくなり、東京を中心に、レンガづくりの建物が登場しました。また、1872年に暦が太陰暦から

↑p.190



## タイムトラベル⑨ 明治時代を眺めてみよう

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

世界が一望できる「世界とのつながりを考えよう 地図編」

地図とイラストによるイラスト世界地図「世界とのつながりを考えよう 地図編」を設置して、日本の歴史を世界の中に位置づけて見ることができるようにしています。

p.44-45

世界とのつながりを考えよう

～地図編①～

## 8世紀ごろの世界

### やってみよう

1. 地図のなかから、下に挙げたA～Cを探してみよう。また、その人々がどの宗教を信仰しているか、考えてみよう。



- A. 皇帝に冠を授ける教皇 ヒント→p.106
- B. メッカに向かって礼拝する人 ヒント→p.25
- C. 海を渡る僧侶 ヒント→p.48

### 見方・考え方

地図のなかから、このコップをつくっている人と、コップを持つ人を合わせて3人以上探して、ペルシャから日本まで地図をたどってみよう。

→1 瑠璃杯 西アジアのペルシャでつくられたといわれています。  
[正倉院宝物]

小地公



(全高11.2cm)

コップは日本に来るまでどのような人々を経由してきたのかな。



↑2 8世紀ごろ(奈良時代のころ)の世界 世界とのつながり



「タイムトラベル」同様、地図帳の索引記号のように記号を使って位置を確認できるようにしています。

原寸大

## 4 大陸の影響を受けた天平文化

3節の問い なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。



学習課題

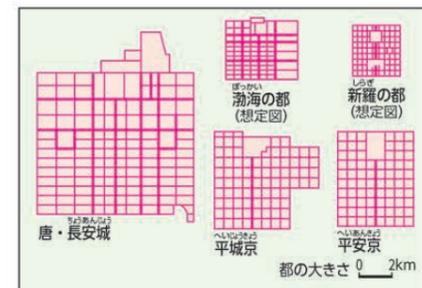
奈良時代には、どのような特色をもった文化が展開したのだろうか。

### 唐中心の国際関係と栄える東西交流

日本の国づくりに際しては、唐を手本とするため、7世紀以降、盛んに遣唐使が派遣されました。同じく、東アジアの各国が唐を訪れて、大陸の東側に大帝国を築いた唐の政治のしくみや進んだ文化を学びとりようになりました。こうして8世紀の東アジアでは、唐を中心とした国際

関係が安定するなかで、漢字を通じた共通の文化が広がりました。さらに8世紀には、大陸の西側でイスラム教徒の朝が大帝国を築き、唐とも接しました。貿易が盛んな都市で生まれたイスラム教の商人は、砂漠や海で長い距離を移動するための知識や技術にたけており、唐にも訪れたほか、分裂したローマ帝国とも貿易していました。そのため、ユーラシア大陸を東西に文物が行き交い、東の長安と西のバグダッドが国際都市として栄えました。

関係が安定するなかで、漢字を通じた共通の文化が広がりました。さらに8世紀には、大陸の西側でイスラム教徒の朝が大帝国を築き、唐とも接しました。貿易が盛んな都市で生まれたイスラム教の商人は、砂漠や海で長い距離を移動するための知識や技術にたけており、唐にも訪れたほか、分裂したローマ帝国とも貿易していました。そのため、ユーラシア大陸を東西に文物が行き交い、東の長安と西のバグダッドが国際都市として栄えました。



↑3 唐と各国の都の比較

# 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図

## 世界が一望できる「世界とのつながりを考えよう 地図編」

同じ時代の「世界とのつながりを考えよう イラスト編」と見比べることで、物や文化がどのような経路で日本に運ばれてきたのかが確認できます。



↑p.44-45

## 「世界とのつながりを考えよう」掲載ページ一覧(全6か所)

ページ	タイトル
p.44-45	8世紀ごろの世界～地図編①～
p.50-51	唐の都 長安～イラスト編①～ <b>NEW</b>
p.78-79	13世紀ごろの世界～地図編②～ <b>NEW</b>
p.110-111	16世紀初めごろの世界～地図編③～
p.168-169	産業革命期のイギリス～イラスト編②～ <b>NEW</b>
p.172-173	19世紀ごろの世界～地図編④～



↑p.50-51

関係が安定するなかで、漢字を通じた共通の文化が広がりました。さらに8世紀には、大陸の西側でイスラム教徒の王朝が大帝国を築き、唐とも接しました。貿易が盛んな都市で生まれたイスラム教

中国から伝わった漢字が、日本を含む東アジア共通の文化になったことがわかります。

### ポイント

このページでは、西アジアでつくられたといわれるコップ(瑠璃杯)がシルクロードを通り、長安を経由して日本に伝来したことが、地図から読み取れます。

